平成26年9月16日（火）からスタートする追加機能について

1.複数発生記録請求（画面入力）機能

現行	追加機能
・画面から1件づつの個別請求、もしくは、ファイルアップロードによる一括記録請求ができます。	・発生記録メニュー画面から、複数債権の仮登録情報を入力し、一度に大量（500件）の発生記録請求を可能とする機能を提供します。また、取引先グループからの選択や、過去請求データからの再利用等、様々な導線から仮登録情報の入力を可能とします。

2.一括記録/複数記録請求のまとめ承認機能

現行	追加機能
・承認者は、担当者の仮登録毎に承認、または、差戻し/削除の操作を実施します。	・複数記録請求並びに一括記録請求を対象に、承認者による承認、または、差戻し/削除の操作を、まとめて可能とする機能を提供します。最大で30件の仮登録情報について、一度にまとめて操作可能とします。

3.発生予約中債権の譲渡予約の制限機能

現行	追加機能
・発生記録の予約中の債権について、債権者からの譲渡記録請求（予約）が可能です。	・発生記録の予約中の債権について、債権者からの譲渡記録請求を不可とする機能を提供します。画面からの譲渡記録請求並びに一括記録請求を対象とします。

4.取引先情報のファイル登録機能及びグループ管理機能

現行	追加機能
・取引先情報を事前に登録し、記録請求の仮登録の際に、当該取引先情報を呼び出して利用することができます。	・取引先管理について、大量の取引先情報をファイル登録する機能及び、取引先をグループ管理する機能や、各取引先に発生記録で利用する為の登録債権金額を事前設定する機能を提供します。

5.口座の存在確認機能

現行	追加機能
・でんさいネットへの口座の存在確認の実施タイミングは、取引先情報の事前登録時であり、記録請求の仮登録時には実施していません。	・口座情報相違による記録請求エラーを防止する目的として、常に最新の口座情報での記録請求が可能となるよう、各種記録請求の仮登録時に、でんさいネットへ口座の存在確認を実施する機能を提供します。当機能を利用して、請求先(取引先)を直接入力する場合は、口座情報より、利用者番号を自動保管します。

6.非同期開示の支払期日の指定可能期間の拡大機能

現行	追加機能
・お客様からの非同期開示(検索に時間を要する)における支払期日の指定可能期間は、1ヶ月です。	・当該指定期間を、4ヶ月に拡大し、保有債権の全量確認等を行う際の、検索の効率化を図ります。

7.①取引一回当たりの限度額機能、②承認管理機能、③同一担当者による仮登録/承認抑止機能

現行	追加機能
①取引金額に関わらず、担当者が仮登録を行い、承認者が承認することにより、取引(記録請求)や、融資申込みが可能となっています。 ②担当者が仮登録を行い承認者が承認することにより、請求が完了します。 ③企業担当者が担当者権限と承認者権限を共に保有している場合、自身が行った仮登録の承認が可能となっています。	・企業取引の内部統制の堅牢化を目的として、 ①承認者が一回の取引で取扱い可能な上限金額を管理する機能 ②請求に係る承認操作に、1名、もしくは、2名の承認者を必要とするよう設定が可能、更に担当者による仮登録時に、承認者の指定を可能とする機能 ③仮登録を行った担当者と同一担当者による承認を不可能とするよう設定することができる機能を提供します。